



5月の目標「聞く姿勢を整えよう」聞く・聴く・訊く

今月の生活目標は「聞く姿勢を整えよう」です。

「きく」には、「聞く」「聴く」「訊く」などの漢字があります。

「聴く」という漢字をよく見てみると「耳」だけではなく「目」や「心」という漢字がかかれています。「耳と目と心で聞く」ことは、まさに「聞く姿勢を整える」ことに重なります。授業中には、「話している人のほうをしっかりと見る」ことや「自分の考えとどこが違うのか考えながら聞く」ことが大切です。

「訊く」には「問う、尋ねる」という意味があります。授業では興味のあることについて質問したり、疑問に思うことを尋ねたりすることが大切です。

「聞く」ということは、学習するうえでとても大切なことです。「聞く姿勢を整える」ということは、単に静かにお行儀よく聞くということだけではなく、自分の考えをしっかりとつため、積極的に人の説明や意見・考えに最後まで耳を傾けるということです。

明日は、授業参観です。授業でのお子様の様子をしっかりと見ていただけたらと思います。授業では子どもたちが生き生きと発言している姿が印象的ですが、ぜひ明日は、お子様が授業でどのように先生や友達の話を聞いているかにも注目してくださると幸いです。

以下のポイントの一つでもできていたらほめてあげてください！



【先生の指示通り教科書を指さす1年生】

【 お子様の聞き方チェックポイント 】

- 静かに聞いている。 ○ 話し手のほうを向いて聞いている。 ○ 最後まで聞いている。
- うなずきながら聞いている。
- ☆ 自分の考えと比べながら聞いている。 ☆ わからないことは尋ねている。

明日の授業参観・引き渡し訓練お世話になります。

明日の授業参観、引き渡し訓練では大変お世話になります。

学校でのお子様の様子をしっかりと見てください。また、ご来校の際、校舎内外の様子や児童の様子などについてお気づきなどあれば、ぜひ学校にお知らせください。小さな気づきが大きな事故を防ぐことにつながることも多いものです。どうぞよろしくお願いいたします。



さて、先日、石川県では大きな地震がありました。被災地の一日も早い復興を願うばかりです。本校でも、今後起こりうるかもしれない自然災害などに十分備えておかなければなりません。先日、4月30日(日)には本校体育館で校区の避難訓練が行われ、防災倉庫の管理や災害に備えた連絡方法の確認などを行いました。熊本地震の教訓を生かしながら、各校区での避難訓練も年々充実してきています。楠校区の方々の真剣なまなざしを見て、大変心強く感じました。

ご家庭でも、大きな地震やそのほかの自然災害に対して、家族でどのような行動が必要か、どのような備えが必要かなどについて、ぜひこの機会に改めて確認していただけたらと思います。